

## 校内の推進体制づくり

### 【ねらい】

G I G Aスクール構想実現に向けた校内の推進体制づくりについて理解する。

### 【ポイント】

- ① 推進体制づくりに必要な3つのポイント
- ② 県内の取組状況から見えた推進体制づくり

【活動】 各学校における推進体制を見直してみましよう。

3つの  
ポイント

## 各学校への取材などからわかる各学校の課題意識

～1人1台端末活用について抜粋～

- ・活用について各教員の裁量に任されている
- ・情報管理担当者の負担が大きい
- ・端末利用のルールと指導の徹底が必要

など

- ・情報共有が限定的で効率化できていない
- ・学年や学校間などで連絡調整できる仕組みがない
- ・地域や保護者との効率的な情報共有に課題がある

など

- ・教職員のスキルの差が大きい
- ・教科間でICT活用のばらつきがある
- ・ICT活用について学ぶ研修時間の不足

など

視点

1

リーダーシップと  
組織体制の整備

視点

2

校務の情報化と  
授業外での活用

視点

3

組織的なスキル向上に  
つながる研修の充実

※2021年度 GIGA取材、研修講座アンケートから

## 視点1 リーダーシップと組織体制の整備

1人1台端末活用を教育目標や研究テーマに位置づけ、推進体制を構築。

### 校内支援体制の整備 活用の促進

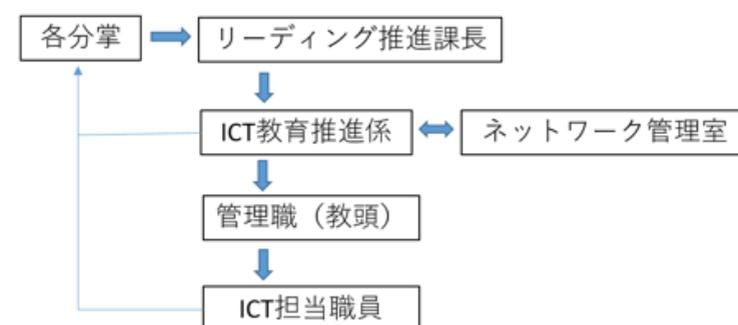
#### ICT活用における支援体制の構築

- 4月当初は、学校全体におけるICTの活用について戸惑う場面もあったが、推進体制を構築してからは、スムーズな活用が行えるようになっている。
- 支援要請は、リーディング推進課に相談することからスタートし、ICT教育推進係、ネットワーク管理室（ハード系）とも連携し、取組を進めている。
- 各種配信のパターンに応じた準備と対応を行っている。

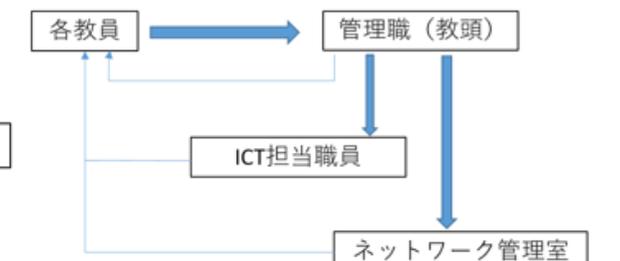
#### 県立岡山朝日高等学校

ICTを活用した行事の実施や会議等への参加に関する支援要請の流れ

①学年集会、講演会、式典等を実施する場合



②会議・研修等に参加する場合（個人による活用）



出典：<http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/08/post-1846/>

### 校内組織の工夫 連携の促進

#### 校内組織の工夫で、効率化と活性化を実現

- 技術面から支援する『教務課情報係』、授業改善から支援する『教務課企画係』を設置し、各年次2名ずつを配当して強化したことで、学年間の情報共有がやりやすくなり、円滑に業務が進行するようになった。また、転勤などで担当がいなくなることによるトラブル発生リスクが軽減された。
- 年度当初に自由参加の形で“自主研修会”を開催した。基本的なChromebookの操作から、授業実践の紹介まで、丁寧に説明しており好評だった。また、併設する中学校の先生も多数参加することができた。

#### 県立津山高等学校



出典：<http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/07/post-1547/>

視点  
2

## 校務の情報化と授業外での活用

業務を効率化し負担を軽減することで働き方改革につなげる。効果的な情報共有を実現する。

### ■ 情報共有と可視化

情報の共有

**職員朝礼も時間短縮。連絡事項をドキュメントで共有し、いつでも見える、書き込める。**

職員全員がアクセスできる共有ドライブを作成し、ドキュメントを使用して職員朝礼を行っている。ドキュメントには、連絡事項等を打ち込むことだけでなく、共有したり、資料のリンクを貼り付けたりするなどしておき、効率のよい仕組みを整えている。



井原市立芳井中学校

出典：http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/08/post-1784/

### ■ 情報発信とSNSの活用

情報の発信

#### 積極的な情報発信

校内の取組や様子について積極的な情報発信を行っている。また、寄宿舎を持つ支援学校として保護者からも情報発信へのニーズが高い。学部間で分担し、学校の様子については、ホームページ、ブログ、Facebook、メールマガジン（要登録）で、毎日昼夕の給食のメニューについてはTwitterで紹介している。



健康の森学園支援学校

出典：http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/11/post-2336/

視点  
3

## 組織的なスキル向上につながる研修の充実

活用スキルの差を埋める。  
ICT活用指導力の育成。

### ■ 学校のニーズに即した研修 目的に応じた研修

#### 課題に即応する校内研修の実施

- ICTの利用に関して日々の先生方の困り感を吸い上げ、校内で研修ができるように準備をし、タイムリーな研修を全教職員に行っている。同僚が自分の工夫を講師となって広めることを基本としている。
- 5月に、生徒の学びを止めないため、教職員全員を対象とした説明動画を作成する研修を実施した。1人1台端末を活用した、すぐに活用できる内容で、学校を休んでいる生徒へ授業動画を配信するなどの活用が進んでいる。



県立岡山朝日高等学校

出典：http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/08/post-1846/

### ■ 授業改善への取組 全体共有で授業改善

#### 校内での取組を定期的に共有することで、自身の授業等へ活かせる仕組みづくり

「使っていく」ことを厭わないために、終礼等の短い時間を利用して実践紹介し、共有する時間を設けている。時間をかけることなく、情報を全体で共有することは、授業で活用するヒントとなり、有効である。また、学期に1回程度期間を設定し、自身の授業での取組を表に打ち込み、まとめている。



出典：http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/08/post-1907/

#### タブレット活用♪

#### 井原市立芳井小学校

学年	教科名	単元名など	
1年	国語	ひらがなの学習	まなビューア(デジタル教科書)で、ひらがなのなぞり書きを練習する。書き順の動画を見て、個人で復習する。
	国語		確かめとして、ワークシートをする。(紙のプリントより児童のやる気が出るように思う。)
	生活科	わたしのあさがお	あさがおの成長をカメラで撮る。(教室に戻って、机でゆっくり観察できる。)
2年	国語 算数	スクールタクト	まなびポケットのスクールタクトを利用して教師の作成した問題を解く。分からない時は、教師にヘルプを求めたり、児童同士でも確認し合うことができる。
	学活 or 図工	ジャムボードで絵を描こう	グループに「木」「山」「川」「魚」などが書かれたカードを配付し1人1枚ずつ引いて、その絵を描く。一斉に描くと魚が空を飛んでいた、川の中に木が生えていたりして、各班楽しい作品ができた。担任の顔を描かせたら盛り上がった。
	学活	ジャムボードでしりとりしよう	ペアになり、ジャムボード上でしりとりをした。すぐに字でいっぱいになるので、拡大した状態で字を書いた方が良い。
	国語	スイミー	デジタル教科書の本文に線を引いたり、書き込んだりしている。新出漢字でも活用。

## 推進体制づくりの3つのポイント

**視点1** リーダーシップと組織体制の整備

**視点2** 校務の情報化と授業外での活用

**視点3** 組織的なスキル向上につながる研修の充実

教育の情報化の  
ビジョンの普及

学校が抱えている課題解決に  
ICTを活用

主体的・対話的  
な深い学びの視  
点の授業改善

1人1台端末の  
日常的な活用



教職員の意見



学校情報化認定

参考

GIGAスクール構想対応チェックリスト更新版

### 情報化の推進体制

	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3
<b>管理職のリーダーシップと学校の情報化のビジョン</b>	学校の全体計画に情報化が位置付けられており、管理職の役割が明確になっている □□□	学校の全体計画に情報化が位置付けられており、管理職のリーダーシップが発揮されている □□	学校の全体計画に情報化が位置付けられており、管理職を含むリーダーシップチームにより推進されている □□□	学校の全体計画に情報化が位置付けられており、管理職を含むリーダーシップチームにより、持続的・計画的な教育の情報化が推進されている □□□
<b>情報化担当教員</b>	情報化担当教員(情報主任等)が学校の情報化の普及に努めている □□□	情報化担当教員(情報主任等)が管理職と連携して、学校の情報化の普及に寄与している □□	情報化担当教員(情報主任等)が管理職と連携して、学校全体の情報化の普及・定着のために貢献している □□□	情報化担当教員(情報主任等)が中心となって、教科横断的なカリキュラム・マネジメントを行い、学校全体の情報化を持続的・計画的に推進している □□□
<b>情報化推進組織・校務分掌</b>	情報化を推進する組織が校務分掌に位置付けられている □□□	情報化を推進する組織が校務分掌に位置付けられ、学校全体の情報化の普及・定着に寄与している □□	管理職、情報化担当教員(情報主任等)、情報化を推進する組織が一体となって、学校全体の情報化の普及・定着のために貢献している □□□	情報化を推進する組織が機能し、学校全体の情報化による教育改善が実現している □□□
<b>教員のICT活用指導力とその向上のための校内研修</b>	校内研修は行われているが、教員のICT活用指導力の向上は限定的である □□□	日常的な情報交換に加え、ICT活用指導力向上のための校内研修が計画的に行われている □□	校内研修が計画的に行われており、ほとんどすべての教員がICT活用指導力を身に付けている □□□	より高いICT活用指導力を身に付けるために、校内研修が工夫され、ICTを活用した授業研究が計画的に実施されている □□□
<b>外部との連携、外部人材の活用</b>	情報化の推進のために教育委員会を含む外部から何らかの支援を受けている □□□	情報化の推進のために教育委員会を含む外部からの支援を受けたり、外部人材の活用を行ったりしている □□	情報化の推進のために大学や企業等外部からの支援を受けたり、ICT支援員の配置や外部人材の活用を行ったりしている □□□	研究指定・助成や大学・企業等との連携等、情報化の推進のための外部支援を受けたり、ICT支援員の配置や外部人材の活用継続的に取り組んでいる □□□

※チェックリスト一部抜粋



■ 本研修で使用したデータは、「おokayama ICT活用実践事例集」に掲載

各冊子5つの学校の事例を紹介しております

おokayama ICT活用  
実践事例集 Web版  
～ 主体的な学びを充実させるICT活用 ～

4 読者の学びを  
みんなに  
SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

vol. 1  
2021.8

全体版 1

美作市立美作北小学校 / 県立津山中学校 / 井原市立芳井中学校

参考URL：<http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/08/post-1880/>

おokayama ICT活用  
実践事例集 Web版  
～ 主体的な学びを充実させるICT活用 ～

4 読者の学びを  
みんなに  
SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

vol. 2  
2021.11

全体版 2

井原市立芳井小学校 / 高梁市立有漢中学校 / 高梁市立落合小学校  
/ 奈義町教育委員会 / 岡山県立美郷高等学校

参考URL：<http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/11/post-2318/>

おokayama ICT活用  
実践事例集 Web版  
～ 主体的な学びを充実させるICT活用 ～

4 読者の学びを  
みんなに  
SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

全体版  
vol. 3  
2021.12

Ver.211210

全体版 3

岡山県立岡山東商業高等学校  
岡山県健康の森学園支援学校  
赤磐市立山陽小学校  
奈義町立奈義小学校

参考URL：<http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/12/post-2778/>

■ 最新情報は、随時当センターのHPをご確認ください

岡山県総合教育センター

<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/215/>



おokayama ICT活用実践事例集

バナーを  
選択

Voiced by <https://CoeFont.cloud>